



岡山大学自然生命科学研究支援センター

動物資源部門

Newsletter

2018

Apr. 19

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>

平成 29 年度動物資源部門整備

鹿田施設：個別換気型マウス飼育システム（IVCシステム）を感染実験区域（BSL2）に導入



動物資源部門は、今回初めて個別換気型マウス飼育システム（テクニプラスト Sealsafe Plus）1台を導入し、鹿田施設1階の感染実験区域（BSL2）飼育室（1）の密閉ボックス式飼育装置（セオビット B.B.H. ユニット）1台と置換えました。これは大規模改修後、感染実験区域の IVIS LUMINA の利用が急増、それに伴い同区域のマウス飼育数が想定を上回ったことに対応するために実施しました。これまで感染実験区域ご利用の皆様にご不便をおかけしましたが、写真で示したとおり、従来の装置に比べこの整備により収容可能マウスケージ数大幅に増加しました。是非ご活用ください。なお、当該システムのブローユニットの能力はマウスケージユニットで最大4台、ラットケージユニットで最大2台接続できますので、感染実験区域の利用状況に応じて追加整備する予定です。なお、置換えとなるセオビット B.B.H. ユニットは、津島南施設に移設し、有効活用を図るとともに津島南施設の実験動物の飼養及び保管状況の改善に寄与させる予定です。

津島北施設：ラット飼育装置を整備

津島北施設の整備事業では、ラット用の陽圧型一方気流式飼育装置（精研 AP型アニコンラック）1台購入し、ラット飼育室（1）に設置しました。合わせて隔離飼育室に設置してあった稼働率が低い同タイプラック2台のうち1台をラット飼育室（1）に移設、これにより津島北施設の飼育室全室に規定の飼育装置の設置を完了しました。これにより、同施設には、マウス及びラットケージを最大でそれぞれ945ケージ、360ケージを収容可能となりました。



津島北施設ラット飼育室（1）

津島南施設：部分的な改修を実施



補修が完了した津島南施設玄関

津島南施設では、平成28年度に引き続き、建屋の保全的な部分改修を実施しました。実施箇所は、以下の通りです。

- 1) 玄関のタイル剥がれの補修
- 2) マウス飼育室2室の排水柵の埋設
- 3) 家禽関連室の天井材の交換、壁の補修並びに電気系統及び排気ファンの修理

特に、2)のマウス飼育室の排水柵の埋設の小改修は、大規模改修前の鹿田施設でも実施、一定の効果が得られていた改修で、飼育室清掃・消毒作業の効率化及びゴキブリ対策に関して費用対効果が高い改修です。今回の小改修では、予算の都合で天井材の交換、壁の再塗装を行っていませんが、飼育室の印象が大きく変わったと実感できます。紹介はしませんが、屋上のチラーもこの2年で全交換を行いましたので同施設の空調環境も改善されています。

お知らせ

平成30年4月1日付で動物資源部門の管理体制が、以下のよう
に現状に即した形へと変更となりました。

部門長：教授・松川明博（医歯薬学総合研究科）

鹿田施設長：教授・松川明博（医歯薬学総合研究科）

津島北施設長：教授・樺木勝巳（自然生命科学研究支援センター）

津島南施設長：教授・樺木勝巳（自然生命科学研究支援センター）

各施設の監督者は従来通りです。運用面で大きな変更はありません。なお、新たに部門の現場職員（特契職員及び各補佐員を含む）を総括する現場総括をおき、矢田範夫技術専門職員がこれを担います。



改修後のマウス飼育室（上）と育雛室（下）